

ジョン万次郎に関するエピソードをご紹介します

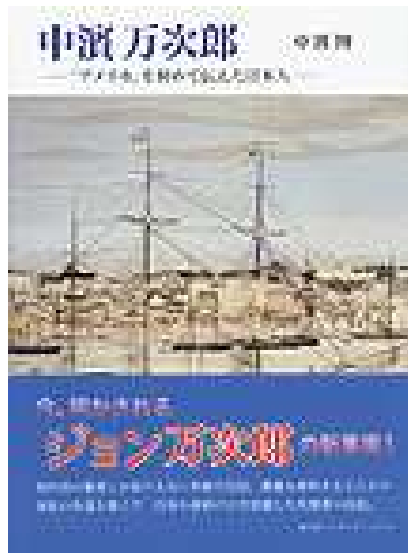
帰国するのは三人

エライシャ・ワーウィック号は一八五〇年十月十日ホノルルについた。万次郎は仲間たち、伝蔵(筆之丞改名)、五右衛門、寅右衛門と再開する。重助だけは病死して、カネオに葬られていた。皆で日本へ帰ることについて相談するが、寅右衛門は大工として生活をたて妻もいるので、帰国を勧めたがここに残り永住する。表向きの理由は漂流の経験から船に乗るのが怖いということであった。結局、帰国するのは三人となった。

~~~~~  
当時のハワイ日本人漂流者たちは、帰国する術もなくそのほとんどの者が定着したと考えられる。しかし、明記されているものでは、寅右衛門がハワイ日本人移民の最初であり、重助は墓もあってハワイで亡くなった日本人であるが、長者丸で一八三九年に漂流してハワイで亡くなった船頭平四郎が記録にある最初である。  
(中濱 万次郎:中濱 博著より抜粋)

### ○ジョン万次郎関係書籍の紹介

**中濱 万次郎**  
—「アメリカ」を初めて伝えた日本人—  
富山房インターナショナル版 定価 2,940円  
  
万次郎直系四代目である中濱 博氏が、日記や手紙、公式記録などをもとに新事実・新発見資料を加えて丹念につづり、書き上げた伝記です。



**THE STORY OF JOHN MUNG**  
**ジョン万次郎物語**  
富山房インターナショナル版 定価 1,500円(税別)  
  
ウエルカム・ジョン万の会が子ども向けの文章を書き、米国フェアヘーブンの画家アーサー・モーグズさんが挿絵を描き、フェアヘーブンの主婦たちが分かりやすい英文に訳した手作りの絵本です。  
この絵本を読んだ子どもたちは、万次郎の勇気と国を超えた人々との愛情の大切さを知ることでしょう。



# 第1回土佐清水ジョン万祭りのご報告

土佐清水ジョン万祭り実行委員会(土佐清水市姉妹都市友好協会、土佐清水商工会議所、土佐清水市などで組織)では、米国姉妹都市フェアヘブーンで2年に1度開催されている「ジョン万祭り」を本市でも隔年で実施することとし、今年10月7日に「第1回土佐清水ジョン万祭り」を土佐清水市養老のあしずり港並びに海の駅あしずりで開催しました。

当日は、午前9時より開会式典が行われ、米国から姉妹都市委員長ジェラルド・ルーニーご夫妻、豊見城市からジョン万次郎会のメンバー、名古屋市在住で万次郎5代目子孫の中濱京さんなど、各地からジョン万次郎に関わる多くの方にご参加いただき、大勢の市民とともに交流を深めました。

午後四時から行われた記念レセプションでは、ルーニー委員長からメッセージが披露されるなど、姉妹都市の絆の深さと交流の輪がさらに広がっていることを確かめることができました。

また、大阪市の帆船あこがれによるセイル・トレーニングや一般公開、清水中・清水高校音楽部による演奏、清水高校生によるお茶の接待・短期留学体験発表のほか、近隣市町村の特産品販売、姉妹都市の文化紹介・物産販売等を行いました。



沖縄ジョン万次郎会のみなさん



米国文化紹介・物産販売



清水中学校音楽部のみなさん



清水高校生によるお茶の接待



清水高校音楽部のみなさん



記念レセプション



ルーニーご夫妻



中濱 京さん(中濱万次郎5代目子孫)



帆船あこがれ「セイル・トレーニング」

# 祝 土佐清水市民表彰受賞

平成18年11月23日に開催された土佐清水市民表彰の記念式典において、那覇市の東上里 康雄氏が市民表彰(功労賞)を受賞されました。  
心からお祝い申し上げます。

## ☆東上里 康雄氏の功績☆

平成5年2月に本市と沖縄県豊見城市(当時、豊見城村)との姉妹都市の盟約締結以来、姉妹都市スポーツ交流において少年野球やバレーボール少年団の相互交流に尽力するなど、本市との友好の絆を深めました。



## 清水高校生姉妹都市短期留学感想文集の発行

平成18年3月10日～26日、姉妹都市派遣事業として清水高校生5名と引率の教師1名が米国フェアヘーブン・ニューベッドフォードへ派遣され現地でホームステイを行い、姉妹都市並びに姉妹校との交流を深めるとともに学生の国際意識の向上を図りました。  
このたび、派遣事業に伴う感想文集が出来ましたので会員の皆様へご発送いたします。